

指定管理者による公の施設の管理運営状況

令和4(2022)年度

施設名	栃木県ライフル射撃場
施設所管課	栃木県教育委員会事務局スポーツ振興課
指定管理者	栃木県ライフル射撃場管理運営共同事業体「チームとちぎ」 ・株式会社狩猟者安全管理センター（法人番号 5060001032809） ・北関東総合警備保障株式会社（法人番号 9060001001355） ・ガンルームシモン
指定期間	令和3（2021）年4月1日～令和6（2024）年3月31日

1 施設の概要

施設所在地	栃木県宇都宮市新里町乙1067番地
施設の概要	①敷地面積：118,337㎡ 建物面積：2,388.34㎡ ②第一射場：50m、28射座（うち電子標的24射座）、小口径ライフル等 ③第二射場：10m、31射座（うち電子標的26射座）、エアライフル等 ④第三射場：50m移動標的、50・100m固定標的、大口径ライフル等 ⑤その他：事務室、控室、審査室（2室）、銃器手入室（2室）、更衣室（2室）
業務内容	①射撃場の施設の維持管理に関する業務 ②射撃場の施設等の利用許可にかかる事務に関する業務 ③射撃場の施設の運営に関する業務

2 収支の状況

令和4(2022)年度

(千円)

収入			支出		
指 定 管 理 ※2	指定管理料	29,964	指 定 管 理 ※2	事業費	84
	利用料金収入	—		管理運営費	16,378
	その他収入※1	475		人件費	14,677
	合計	30,439		その他支出※1	—
指定管理業務収支差額①		▲700	合計		31,139
自主事業		1,535	自主事業		721
自主事業収支差額②		814			
収支差額(①+②)		114			
備考(※1 その他収入の主なものを記載) ・物価高騰支援金 374千円			備考(※1 その他支出の主なものを記載)		

※2 指定管理業務に係わるもののみ計上する。

令和3(2021)年度(前年度)

(千円)

収入			支出		
指 定 管 理 ※2	指定管理料	29,964	指 定 管 理 ※2	事業費	213
	利用料金収入			管理運営費	15,246
	その他収入※1			人件費	12,108
	合計	29,964		その他支出※1	
指定管理業務収支差額①		2,397	合計		27,567
自主事業		2,006	自主事業		2,764
自主事業収支差額②		▲758			
収支差額(①+②)		1,639			

備考（※1 その他収入の主なものを記載）	備考（※1 その他支出の主なものを記載）
----------------------	----------------------

※2 指定管理業務に係わるもののみ計上する。

### 3 利用状況

施設名	項目	令和3(2021)年度 (前年度)	令和4(2022)年度
射撃場	利用可能日数	226日	305日
	利用日数	226日	305日
	利用率	100%	100%
	利用者数	3,175人	4,240人

### 4 サービス向上に向けた取組

<ul style="list-style-type: none"> <li>・おもてなしの心で接客を行っている。</li> <li>・見学を希望する地域住民に対して、丁寧な対応を心がけている。</li> <li>・射撃の初心者に対して、施設利用方法などを丁寧に説明している。</li> <li>・将来的に射撃を始める方が来場した場合、競技内容や所持許可取得について、具体的に説明している。</li> <li>・障害者に対する親切な対応を心がけている。</li> </ul>
---

### 5 利用者意見への対応

利用者意見の把握方法				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・正面入口に意見箱を設置</li> <li>・口頭での聞き取り</li> <li>・Google上でのレビュー</li> <li>・利用者アンケートの結果 回答者数300人</li> </ul>				
主なアンケート項目	大変良い	良い	悪い	大変悪い又は 無回答
①施設の清潔さ	96%	4%	0%	0%
②施設の立地条件	43%	47%	5%	5%
③備品等の充実度	80%	15%	3%	2%
④利用料	74%	21%	2%	3%
⑤スタッフの対応	89%	9%	0%	2%
主な利用者意見（苦情・要望）		対 応		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大会でトイレが少なく不便</li> <li>・5.5MM以上の空気銃が散弾銃と同じ値段なのは不合理である</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・大人数の大会時は仮設トイレを設置した。</li> <li>・県と検討します。</li> </ul>		
主な利用者意見（積極的評価）				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・綺麗な射撃場である。</li> <li>・第1～第3射場まであり、競技エアから大口径ライフルまで撃つことが出来る。</li> <li>・移動標的がある。</li> <li>・駐車場が広い。</li> <li>・スタッフの対応が丁寧で、銃や射撃に詳しい。</li> <li>・また利用したい。</li> <li>・レストやスポッティングスコープもあるので助かる。</li> </ul>				

### 6 指定管理者による自己評価

成果のあった取組・積極的に取り組んだ事項・利用者満足度向上への取組
・ビームライフルを常時設置、家族連れ等体験者が多く来場した。
※各指定管理者が重点的に評価すべき内容（自己評価手法を前提とした評価内容）を独自に設定
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の安全を踏まえ、点検を日常的に行うほか、施設等点検日を設け、各担当職員が施設や設備器具等の点検・確認及び駐車場などの草刈りを行った。</li> <li>・利用者の利便性向上と利用促進を図るため、ホームページにより予約状況等を周知するとともに、リンクするツイッターにて射撃場の現状などを発信した。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症防止のため、検温や消毒等の対策を講じた。また、大会の際は窓を解放するなど、換気に努めた。</li> <li>・遠方からの来場者に対し、施設周辺のグルメマップを制作し、無料配布した。</li> </ul>
今後改善・工夫したい事項
・管理棟西側駐車場に照明がなく、冬季の夕方になると暗くなり危険なため、照明を用意したい。

## 7 所管課による評価

項目	評価の内容	確認内容・所見等	評価
1. 住民の平等利用の確保	①住民の平等利用が確保されたか	事前に競技団体へ日程を確認して予約を調整する等により、確保されていた。	B
	②使用許可に関する権限が適正に行使されたか	利用申込書により、利用を適正に管理していた。	B
	③高齢者、障害者等に対する配慮はなされたか	ゆっくりと大きな声で話す、分かりやすい説明を行うなど、相手に合わせた配慮をしていた。	B
2. 施設の効用の最大限発揮	①施設の設置目的に沿った業務実施がなされたか	地域スポーツから全国レベルの大会まで幅広い利用の促進、また、地域の獣害対策のための猟銃による捕獲技術力向上に寄与する等、設置目的に沿った業務が実施されていた。	B
	②施設の利用促進、県民サービスの向上が図られたか	新規利用者の獲得に向けて、射撃教室の開催やパンフレットの作成による認知度向上により、施設の利用促進や県民サービスの向上が図られていた。	A
	③利用者満足度を把握し、満足度の向上が図られたか	受付等にて利用者とのコミュニケーションを図り、満足度の向上に努めていた。	A
	④利用者からの意見、苦情に対して適切な対応がなされたか	意見箱の設置や口頭での聞き取りを行い、利用者の意見や苦情をスタッフ間で共有し、誠意ある対応に努めていた。	A
	⑤施設、設備、備品の維持管理や安全管理は適切になされたか	チェックリストを用いて日々の点検や見回りを行い、維持管理や安全管理を適切に実施していた。	B
	⑥指定管理者の創意工夫により業務改善等がなされたか	構成団体の3者で打ち合わせを行い、改善に努めていた。	B

3. 管理を安定的に行う物的基礎	①組織体制は適正か	射撃や施設管理に詳しい経験豊かな職員を配置し、適正管理を行っている。	B
	②収支は適正でバランスがとれたものか	適正な予算配分で執行し、概ね適正である。	B
	③経費の縮減に取り組んできているか	一括発注による購入を行う等、経費の縮減に努めていた。	B
	④人材育成は適切に実施されているか	OJTの計画を立て、実施している。	B
	⑤危機管理体制（事故、緊急時の対応）は確保されているか	緊急連絡網を作成し、事故等の緊急時に対応可能な体制を確保している。	B
	⑥県や関係機関との連携ができていますか	国体等の大規模大会の開催において、県や競技団体と密に調整を行い、スムーズな大会運営を行えた。	B
4. 個人情報保護	①個人情報の保護についての措置が計画どおり実施されているか	個人情報保護マニュアルの作成、不要となった利用許可申請はシュレッダーにかける等、計画どおり実施されていた。	B
	②情報公開は適切になされているか	該当事例なし。	—
5. その他	①施設の特性にふさわしい自己評価がなされているか	聞き取り等で利用者ニーズを把握し、その都度自己評価を行っている。	B
	②自主事業が計画どおりに実施されているか	射撃講習や火薬類の販売等、計画どおりに実施されていた。	B
	③イベント等を実施している場合は、地域との連携が図られているか	ライフル射撃場主催のイベントは実施していない。	—
	④環境への配慮（騒音・公害対策、ごみ削減等）がなされているか	不要な照明を消灯する、冷暖房の設定温度を適切に管理する、用紙類の使用の削減を行う等、環境への配慮に取り組んでいた。	B
	⑤その他管理運営上の特記事項（コロナ対策がなされているか等）	消毒液を設置する等のコロナ対策を実施している。	B
総合的な評価			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県や競技団体と密に調整を行い、国体等の大規模大会のスムーズな運営に貢献できた。</li> <li>・ 操作方法に不慣れな利用者のサポートをする等、利用者に対して丁寧な対応を行っている。</li> <li>・ 指定管理者独自のホームページを開設の上、ツイッターでも頻繁に情報の更新を行う等、新規利用者の獲得や県民に親しまれる交流の場づくりに努めている。</li> <li>・ 電子標的を始め、精密な設備や備品が多いが、射撃や施設管理に詳しい経験豊かな職員を中心にスタッフ内で情報共有し、適正な管理を行っている。</li> <li>・ 施設内外の見回りや植栽管理等、安全かつ適切な維持管理を行っている。</li> </ul>			

※「評価」欄には、以下の指標により判定した結果を記載すること。

- A：事業計画に対して優れた取組となっている。
- B：事業計画どおりの取組となっている。
- C：事業計画に対して劣る取組となっている。
- D：事業計画に対して著しく劣る取組となっている。